

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

日本企業に向けた変革（ソニー、総合商社に学ぶ） 井上達彦（早稲田大学商学大学院教授）

1. AIによる劇的変化が叫ばれる中、「トランスフォーメーション」という言葉を聞かない日はない。特に米シリコンバレー流の「ラジカルな組織変革」こそ唯一の正解であり、プラットフォーム型やサブスクリプション型へ一気に移行できない企業は淘汰される、といった焦燥感に日本企業は取りつかれている。
2. ここで再考すべきは、変革の「歩法」である。シリコンバレー流の破壊的イノベーションだけが答えではない。むしろ既存の強みを生かしながら「気がつけば大きく変わっていた」というインクリメンタル（漸進的）な変革こそが、日本企業の土壌に向いているのではないか。その好例がソニーグループと総合商社である。
3. 現在のソニーの躍進を支えているのは、過去の失敗に学びながらも、やるべきことを粛々と実行する「継続モデル」への執念である。現在のソニーは、法人向け半導体事業においても、画像センサーにAIを組み合わせた継続利用型サービスを展開するなど、至る所に継続モデルを埋め込んでいる。総合商社は、1990年代の冬の時代から「出資」というカードを切って事業投資会社への転換を図った。川上の資源権益と川下の小売・サービス業への投資で、安定的に太い商流を確保した。

（参考：「週刊東洋経済」2026年7月11日）

経営者のための理念哲学

ビジョンが困難を乗り越える力になる

原昌宏（デンソーウェーブ首席技師、QRコード開発者）

1. 物事を成就する人は途中で投げ出さないと。勝負すると一度決めたら、どんな困難な課題にぶつかっても決して諦めない。やり切れるか否かは、腹をくくっているかどうかだと思います。それから、周りの声に振り回されず、自分の好奇心に素直に従うことが肝要です。私も開発当時は「自動車部品メーカーに世界で通用するコードなんてつくれるはずがない」と散々言われましたが、自分でとことん考え、信じて挑戦したことが、QRコードの開発につながりました。
2. 私は部下の渡部と二人でQRコードの開発を進めましたけど、少数精鋭だからこそ目指す方向が一致し、一体感が生まれました。
3. やはり目指す姿、ビジョンが欠かせないです。私達の場合は「自分たちが作ったものを世界中の人たちに使ってもらいたい」という思いがビジョンとなって後押ししてくれました。そういうビジョンが困難を乗り越える力になります。

（参考：「致知」2026年9月号）

ワンポイント経営アドバイス

会社が「ただ儲ければいい」という時代は終わった

田中仁（ジンズホールディングス会長CEO）

1. 1988年に当社を創業して以来、国内外で事業を取り組んできましたが、今は街づくりがライフワークです。社会課題の解決と事業の成長を同時に達成したいという思いは強く持っていましたので、21年9月に「地域共生事業部」を立ち上げて挑戦を始めました。会社が「ただ儲ければいい」という時代は終わりました。
2. 当社は国内570店舗以上のネットワークを通じて、各地で稼ぎに行っているわけです。ならば地域の役に立ちながら稼ぐという視点が重要だと考えました。まず、前橋店から取り組みを始めました。地域行政に携わっていると、色々なコミュニティはあるのに、それを接続する組織が少ないことに気がきます。そこで前橋の路面店「JINSPARK」を開けた場所とし、公民館に近い役割を果たせるようにしました。様々な人が集まって、無料でイベントなどができます。（参考：「日経ビジネス」2026年6月15日号）

古典に学ぶ

思い込みの中で生きている

1. 人は勝手な思い込みの中で生きている。私たちは自分だけの思いの世界で生きており、そこに登場する人たちを、思い込みで決めつけていく。
2. 思い込みに思いを重ねて、そこに本当の相手はいない。

（参考：加藤朝胤監修「超訳 般若心経」：リベラル文庫）